

## IV. 普通教科の学び方

# 教科「国語」の学び方

## 教育目標

1. 国語の学習は人間形成に深く関連しているものであるから、国語の学習を通じて一つの物事を明確に、理論的に系統的に理解していく力を育てるようにしたい。
2. 国語の学習を通して、平和を守り、真実を愛することの重要さと物事を正しく批判でき、かつ表現する力を育てるようにしたい。
3. 日本の民族的文化の伝統を学び、これを次代に継承することを位置づけ、日本と世界との関連を考えさせるようにしたい。
4. 「ことば」を知識として学ぶだけでなく、それを十分に駆使し、「ことば」によって正しいコミュニケーション、正しい活動、正しく組織する力を養うようにしたい。
5. 生徒自らの創造性を期待し、その媒体としての「ことば」の役割を認識させたい。

## 具体的な目標

1. 評論、随筆、報告などの教材をとおして、それぞれの文章が展開している思考を的確に把握するための読解につとめさせる。また、これらをとおして物を深く考え、じっくり見つめることを学ばせる。
2. 詩歌の教材をとおして、詩歌独特の表現法や詩歌によってはじめて表現しうるものなどについて学ばせる。
3. 近代小説の典型に接し、その主要な特徴、文学的機能についての理解を深める。また、小説をとおして「自己の生き方」について考えさせる。
4. 古典としての古文と漢文の基本的な作品をとおして、古典に親しむことのできる基礎的な能力を身につけさせる。
5. 表現教材、言語教材をとおして、真に自分のことばで書くこと、また、自分の力で推敲することによって自らの思想を築きあげることを学ばせる。
6. 全体をとおして作品をつつみこんでいる民族的伝統文化や近代精神について理解を深めることと同時にそれを批判できる姿勢をも育てる。

## 学び方

国語の学習では、次のことに留意してください。

1. 授業の受け方
  - ・毎回の授業では、何を学ぶのかを考え、学習に対して「意欲」をもってください。
  - ・授業中は、教わったことをその日のうちに理解できるように集中してください。
  - ・課題や提出物は、期限内にきちんと仕上げ提出してください。
  - ・文字は、丁寧に誠意をもって書くようにしてください。
  - ・教科書は、常に目を通し、黙読ばかりでなく「音読」を心がけてください。
  - ・ノートの使い方に工夫を凝らし、いつでも復習できるように資料を添付し整理してください。
2. 家庭・進路学習の仕方
  - ・教わったことは、常に繰り返して復習してください。
  - ・新聞や放送メディアから、正しく情報を吸収してください。
  - ・意味の分からないことは、辞書などを使い「すぐに調べる」ことを心がけてください。
  - ・古典（古文・漢文）は、声に出して読むようにし、分からない部分は質問してください。
  - ・進路目標の達成に備え、適切な問題集を利用し、模擬試験を積極的に受験してください。
  - ・読書の習慣を身につけてください。本校図書館も積極的に利用してください。